京都帝國大學法科大學

經濟論叢

第四卷　第三號

大正六年三月一日發行

論說

資本……文學博士　內田銀藏
植民地ノ分類ニ就キテ……山本美越乃
支那經濟思想ノ出發點(一)……法、文學士　小島祐馬
體質廢頽問題(三)……法學博士　財部靜治
經濟心理學ノ組織的研究(三)……米田庄太郎

時事問題

取引所增資問題……法學博士　戸田海市
米獨斷交ト我經濟界……法學博士　小川鄉太郎
毛羊問題……法學博士　神戸正雄

雜錄

經濟雜話(九)……法學博士　田島錦治
米國鐵道從業者八時間勞働問題……法學士　河田嗣郎
露西亞ノ國民經濟ニ於ケル歐洲的要素……米田庄太郎
維新後ノ戸數ト人口トノ關係……法學士　本庄榮治郎
あーのるど・といんびーと經濟書……商學士　武藤長藏
佛蘭西財政及經濟學者ぼーりゆー逝ク……法學博士　神戸正雄
新著紹介

體質廢頽問題(三)

財部靜治

六

後柏原天皇永正一六年ハ是歲自春至夏諸國大飢、餓死多トノ記錄ヲ傳フ[32]然ルニ之ニ先ツ數年乃チ西曆一五一五年ノ公文書中英國民ハ左ノ一節ヲ挿ミ得タリ

"What comyn folk of all the world may compare with the comyns of England, in riches, freedom, liberty, welfare, and all prosperity? What comyn folk is so mighty, and so strong in thefelde, as the comyns of England?" They may have been fed on "great shins of beefs," till they became, as Benvenuto Cellini calls them, "the English wild beasts."[33]

不羈、自由、福祉吾一般繁榮上全世界中何レノ平民アリ英蘭ノ平民ト比肩シ得ヘキ、何レノ平民ニシテ英蘭平民ノ如ク戰場ニ臨ミテ偉大、强壯ナルモノカアル、牛肉ノ大塊ニヨリ養ハルルカタメニ彼レベんゔえぬーとー・ちえりにーカ評セル如ク英蘭ノ野獸トナレルニヤアラン

トサレト時勢ノ變ハ先ツ同國ヲシテ國民ノ體質ニ廢頽ナキヤノ問題ヲ喧シカラシメ又先ツ同國ヲシテ之カ大調査ニ當ラシムルコトトナレリ詳言スレハ將軍もーりす Frederic Maurice ハ南阿戰爭ニ際シまんちえすたーニ於ケル募兵一萬二千中八千ハ廢疾タリアラユル點ニ於テ合格トサレタル者千二百ニ過キサリシヲ見雜誌時事評論（コンテムポラリー、レヴィユー）ニ寄セシ一論文中主張シテ曰ク收メ得タル最良擧證

32) 小鹿島果氏編日本災異志三一頁參照
33) Charles Kingsley, Health and Education, 1870 s. 2 ニ據ル。

ニヨレハ入隊セント希望スル壯丁ニシテ之ニ合格スヘキハ五名中二名ニ過キスト此警醒及同種ノ警告ハ英國政府ヲ促シ體質廢頽問題調査ノタメ諸省協同ノ下一委員會 Inter-Departmental Commission on Physical Deterioration ヲ起サシムルコトトナレリ集會二六回其間專ラ徵兵官、醫學人類學ノ泰斗、視學、校醫、工場監察官、工場醫、衞生官吏、增福事業ニ關係セル人々都合六八人ノ報告ヲ徵シ其結果同委員會ハ一報告書[34]ヲ發表シ其中ニ學童、工場職工等ニ關スル組織的定期身體計量ヲ推擧シ、救濟策トシテハ人ノ過密ヲ制スヘキ積極策、勞働者拓殖地ノ創設、衞生教育、酒精中毒反對教育等ヲ推稱セリ而モ亦事實問題ニツキテハ民衆ノ健康及體骼極メテ不完全ナル狀態ヲ呈スルコトニ付興味アル報告ヲ夥シク授ケシモ國民ノ體骼事實上廢頽セルヤ否ヤノ問題ニハ解答ヲ與ヘサリキ (non liquet) 其報告書ノ公官セル所ニヨレハ過去ニ得ラレタル材料トノ比較ニヨリ民衆ノ體骼問題ニ付確定判斷ヲ下サシムルタメニ利用シ得ヘキ統計其他ノ材料ハ今尙豐富ナラス現今最モ夥シク募兵ヲ見ルヘキ諸階級ノ狀況ニ關スルカ如キ一部調査ハ如何ニ周到ニ之ヲ遂ケタレハトテ誤謬ニ陷キラシムルコト多ク事情通ノ知見ニ訴ヘテ之ヲ驗メスニ非レハ一般問題ニ付謬斷ヲ下サシムルノ源タルヘシトセリ特[35]ニ又カカル問題ノ攻究ニアリテハ自ラ外圍境遇ト遺傳トノ何レカ如何ナル程度迄心身諸性質ノ形成ニ貢獻スルカ又人ハ如何ナル程度迄自己ノ諸特質ヲ脩成スルカニ着眼攻究スヘキコトナカラ右ノ調査ハ此點ニ付相應ノ事績ヲ擧ケタリトスルヲ得ス否しやるまいあーノ如キハ委員會ノ全事業ヲ以テ誤リ遂ケラレタリト評シ各場合ニ確カメ得タル身體上ノ瑕疵カ遺傳上ノ故障ニ基ツクヤ外圍ノ影響ニ歸スヘキヤヲ明確ニ區別セサリシヲ以テナリ

34) Report of the Inter-Departmental Committee on Physical Deterioration, with Appendix and Minutes of Evidence, 1904.

35) Vgl. J. E. Barker, Great and Greater Britain. 2. ed. 1910. ss. 191, 192.

トセリ凡テ嚴正ニ議スルトキハ營養不足及營養不良ニ基ツク身體軟化 Physische Verelendung ハ廢頽ト區別スヘキ儀ナリ。[36]

獨逸ニアリテハ體質廢頽ノ兆候視サルル諸現象各個ニツキテハ調査、研究相應ニ積マレタルカ如キモ前記英國ノ先例ニ見ルカ如ク國民ノ體質廢頽ヲ主題トセル調査ハ近年中施設セラレタルコトナキニ以タリ唯茲ニ注意シオキテ可ナルハ同國民福保進會本部 Zentralstelle für Volkswohlfahrt カ現戰爭開始後間モナク民力保進ヲ以テ特別攻究問題トナシ其理由トシテ次ノ議ヲ立テタルコトナリ。

戰爭ニヨリ各民人ニ加ヘラレシ損害ヲ緩和セントスルノ計畫畧カニ成リ此目的上戰時救護、國民ノ營養助長、遺族廢人及失業者保護ノ組織成レリト雖モ世人カ戰爭ニヨリ全國民體ニ加ヘラレシ傷痍ヲ意識スルコトハ日ニ益々鮮明トナラン、國民體ヲシテ戰時平時ノ生存競爭ニ耐ヘシメント欲セハ之ニ特別擁護ヲ施スノ要アリ之ニ大傷痍ヲ受ケタル時ハ特ニ然リ國民ノ身體ヲ健全ニ保ツノ學理ハ今尚極メテ幼稚ナル一學問ナリサレト其諸問題ハ獨逸ノ將來ヲ繫クノ骨子ニシテ之ヲ解決スルノ職責ハ面前ニ横ハリ其任務ノ重要ハ測ルヘカラス、人口ノ增進ヲ適度ニ續ケ平均體力心力ヲ向上セシメ健實ナル前進發達ヲ脅カスヘキ內敵ハ之ヲ防クノ要アリ素ヨリ傳染病、酒精中毒、幼者死亡等ノ防壓、職業衞生、住宅衞生、種屬衞生ニ關スル諸運動ハ平時既ニ夥シク起リ國民ノ健康維持ニ勉メ戰時ニ入リ一倍ノ緊張ヲ加ヘタリト雖モ吾人ノ期スル所ハ是等個別ノ諸運動ヲ結束シテ同一目標ニ向ヒテ進マシメ輿論及立法ヲシテ人口政策上採ルヘキ急務アルヲ納得セシメ同時ニ學問及實地經驗ニヨリ示サレタル良策ヲ指示スルニアリ民福保進會本部ハ此任務ヲ盡サントシ數月來親シク專門家ニ諮リ當該範圍ニ就キ準備スル所アリ[37]

ト氣根ト綿密トヲ其國民的一特質トシテ有セルハ獨逸人ナリ惟フニ右ノ私調査私研究ニアリテモ見ルヘキ事績ヲ擧ケツツアルコトヲ信スト雖モ戰爭ハ依然トシテ繼續スルカタメニ其後ノ經過ニ

36) Vgl. Fischer, a. a. O. ss. 152, 153.
37) Vgl. Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik. 1915. III. Folge. 50. Bd. Volkswirtschaftliche Chronik, ss. 656, 657.

就キ信賴スヘキ結果ヲ尋ネ兼ヌルコトヲ惜ム。

我國ニアリテモ亦昨年六月二七日「國民ノ保健衛生ニ關スル事項ヲ調査審議」シ其「成績ヲ內務大臣ニ具申ス」ヘキモノトシテ保健衛生調査會官制（勅令第一七二號）制定セラレ卽日ヨリ之ヲ施行ニ就キ今其事業遂行中ナルハ讀者ノ周知セラルルカ如シ本機關並ニ之ト前後シテ設置サレシ諸官命委員調査會ニ就キテハ由來兎角ノ評論アリ[38]評論ノ適正ヲ尙ヒ立言ヲ苟クモセラレサルノ高風欽慕スヘキ學者中ニモ「我邦の調査會は實は諮問會又は談論會であつて眞の調査會でないものが多い樣である」トノ疑問ヲ吐カレシアリ[39]吾人ハ諸調査會ニ依リ果シテ如何ナル事業成就サレツヽアルヤヲ確知セサルヲ以テ評論ノ機會ヲ其事業成績全部發表ノ後ニ待タント欲スル者ナリ此點ニ付他ノ諸調査會ハ兎モ角我保健衛生調査會ニアリテハ審議モサルコトナカラ眞ニ意義アル調査事績ヲ擧クルニ主力ヲ注カレ無責任ニ流ルルコトモ多キ世評ト財政上ノ虐待トヲ忍ヒ其事功ヲ全フセラレンコトヲ切望ス其調査項目中ニハ本邦人ノ衣食住、農村衛生狀態調査ト言フカ如ク興味多ク又其調査當ヲ得ハ其效果モ甚タ多カルヘキモノヲ含ムト報セラルルカタメニ特ニ此希望ヲ深カラシム。[40]サレト又茲ニ一言シオキタキコトアリソハ外ナラス調査公示主義ナリ凡テ統計調査タルト否トヲ問ハス民情ノ調査ハ直接間接ニ人民ヲ相手トス從ヒテ調査ノ的確ヲ期セント欲セハ須ラク其調査ノ主旨及手續ヲ弘ク人民ニ公示シ官民協同和衷シテ其事功ヲ擧クルヲ樂ムノ風アルヲ可トス[41]人民ヲ牛馬視シ牛馬扱ヒシツツ秘密探偵ノ態度ヲ以テ之ニ莅ムカ如キハ斷シテ非ナリ士ノ數ヲ調査セス調査スルモ秘シテ發セサルカ如キハ幕府列藩互ニ虎視耽々タルカ如キ封建時代ナラテ

38) 吾人ノ記憶ニ存スルモノヲ一ツ二ツ擧クレハ大阪朝日新聞昨年五月一九日社說「價値なき調査」同本年二月一七日「無用なる經調會の增員」
39) 大阪朝日新聞本年一月九日以後ニ連載サレシ內田銀藏氏讀餘錄參照
40) 統計學雜誌第三六八號五〇六頁參照
41) 「拙著けとれーノ研究」二九五頁參照

ハ通用シ難キコトタリ內情ヲ詳悉調査シツヽ之ヲ秘書類トシテ保存スルカ如キハ我利我利ノ外ニ餘念ナキ株主相手ノ會社取締役ニハ相應セル遣リ口ナリサレト現時ノ如キ國家機關トシテカヽル遣リ口ニ出ツルカ如キハ調査事業其モノノ目的ヨリスルモ面白カラスト信ス此點ニ關聯シテ想ヒ起スハ曩年國勢調査調査規定其他附屬法規立案ノ目的上準備委員會存在セシ當時左ノ立言ヲナセル者アルコトナリ。

本會ニ於テ審議ニ就キ秘密主義ヲ確執サレシハ如何、本邦統計ノ前途ヲ憂フル者ハ官吏ノミニテ國民ノ中ニ一人モナク獨逸アタリノ統計行政ヲ語リ得ル者モ亦然リトセラルル積リナラハソレニテ佳シ、サリ乍ラ特ニ公明正大ヲ尙ヒ又大ニ國民ノ力ヲ借ルヘキ統計行政ノコトニ飽迄明ルク又「萬機公論」ヲ重ンスルノ　大御心ニ忠誠ナル諸大官ハ今後重大ノ理由ナキ限リ此惡例ヲ襲踏セラルルコトナカルヘシト確信ス[42]

ト聞クカ如クンハ統計調査及其審議ニモ當ルコト多カルヘキ現存諸調査會モ其事業少クトモ審議ニ就キ依然トシテ秘密主義ヲ踏襲スルモノノ如シ吾人ハカカル惡例カ夙ニ封建ノ遺物トシテ葬リ去ラレツツアルヲ信セント欲スル者ナリト雖モ萬一右ノ事實アリトセンカ吾人ハ重ネテ復タ何ヲカ言ハン。

七

前記すぺんさー、だーうぃん、わるらす等ノ流レヲ汲ミシ一派ノ學說ニ反對シ自由競爭ノ社會ニアリテハ博愛及衆ノ主義自ラ發展シ其發スル所無限ノ形態トナリ人壽ノ延長、貧苦ノ輕減ヲ圖リ人ノ環境改善ニ資スルト共ニ文明人ノ體力、能力增進ノ勢ヲ續ケシムヘシトノ信條ヲ吐露セシ一人トシテ特記スヘキハ本邦經濟學研究者ノ間ニ普ネク喧傳セラルルいーりー其人ナリ[43]而モ亦吾

42) 明治四四年臺灣協會編統計行政論二〇頁參照
43) Vgl. Ely, Studies in the Evolution of Industrial Society, 1903. s. 164.

人カ特ニ氏ヲ擧クヘシトスルハ右ノ信條ヲ吐露セルノ一事アルカタメナラスシテ此信條立定ノタメニ採リシ態度ニ特記スヘキモノアレハナリ。

いーりーハ先ツ異說乃チ文明人體質ノ將來ニ對スル悲觀カ事實ニヨリ立證サルルコトアルヘキヲ信セスト說キオキツツ本問ニ就キ據ルヘキ事實トシテ文獻ニ徵スヘキモノナキヲ議セリ乃チ惟ヘラク一見奇怪ノ感アルヘキモ由來野蠻ヨリ諸形態ノ最高文明ニ至ル迄進步ノ諸階段ニ於ケル民衆體力比較研究トシテ深刻ナルモノ社會學者ニヨリテモ又生物學者ニヨリテモ遂ケラレタルコトナシ此題目人ノ口ノ葉ニ上レルハ多キモ之ニツキ何等嚴正ナル科學的研究(サイアンチフイック)ナシト氏ハカク學問上ノ根據ナキニ之ヲ口ニスル者多キヲ見其初メ謂レナキコトト想ヘル儘勢ヒ之ヲ專門家ニ糺スノ念ニ驅ラレ其友タル生物學者、社會學者ニ就キ恒ニ耳ニセル體質廢頹說ヲ確カムヘキ事實ノ調査研究ヤアルト尋子シニ何レモ之ヲ知ラスト答ヘシコトヲ附記シタリ。[44]

カクテ氏ハ其述作ノ當時進步ノ諸階段ニ於ケル人ノ體力問題ニ關シ所要ノ科學的調査研究ニ據ルノ望ナキヲ認メ現社會ヲ左右セル諸勢ヲ審カニ解析シ依リテ氏衆體力ノ平均古來現代ニ於ケル如ク高キハナク後世益々之ヲ高ムルノ望アリトノ所信ヲ深カラシムヘキ論據否理由ヲ索メタリ。[45] 吾人ハ上來說キ來レル主旨ノ下此態度ヲ以テ慊タラストナス者ナリ從ヒテ氏ノ所說ヲ祖述スルノ意ナシト雖モ就中茲ニ摘錄スルノ無意義ナラサルヘキヲ思ハシムルハ其體育觀ナリ。

脩成セル諸特質ノ遺傳ヲ拒ミシ自然科學者わいすまんノ所說ニ耳ヲ傾ケツツモ別見地ヨリ環境ノ如何ハ體質ノ改善改惡ニ關係スル所多キヲ認メシいーりーハ現時ノ體育盛大ヲ以テ體質改善ヲ

44) Vgl. Ely, a. a. O. ss. 164, 165.
45) Vgl. Ely, a, a. O, s. 167 fg,

促スヘキ勢力視シ之ニツキ議セル所ニヨルニ古希臘羅馬時代ハ之ヲ問ハス其以後ニ於テ體育ニ力ヲ注クコト今日ノ如ク盛ナルハナシ强壯及勇猛ヲ敬重スルコト今日ノ如ク鄭重ナルハナシ片々タル縣賞運動家ト雖モ國民的英雄視セラレ純智ノ成業ニツキテハ數行ヲ費ヤスノミナル諸新聞紙モ是等勇士ノタメニハ全面ヲ費シテ厭ハス我諸大學運動競技ノ人氣ハ昌ンニシテ吾人カ由來大學ノ眼目視シタル智能啓發事業ハ之カタメニ其光ヲ掩ハル一教授如何ニ一大學績ヲ擧クレハトテ其名響クコトハ學生間ニ於ケル一大選手ノ業績ノ如ク深ク又廣キコト能ハスト」。米國學童ノカカル態度ヲ餘蘊ナク語ルヘキ一實話トシテ氏ノ附說セルモノ興味アリ之ニヨルニ一豫備校ノ一生徒ういすこんしん大學ヲ訪ヘル際偶々時ノふっとぼーる大選手 Pat O' Dea ヲ知レル一人ニ校庭ニ於テ邂逅シ大ニ感激セル事實アリ其感激セルハカカル英雄ニ近ツキ得タルヲ名譽ト感セルニヨルヤ明カナルカ其大學總長 Dr. Adams ノ名ヲ唱フル者アルヲ聞キ同シ學童ハ驚イテ「總長あだむすトハ夫レ何人ソ」ト言ヘリトソ。[46] 吾人ハ筆ヲ呵シテ茲ニ及ヒ我邦ノ現況ニ想到スルコトナキ能ハス運動ノ體育ニ效アルハいーりー教授ノ說ヲ待ツ迄モナク競技ノ風ヲ助長スルカタメニ運動ヲ昌ンナラシメ兼ネテ氣力ヲ旺盛ナラシムルノ效アルヘシサレト又聞クカ如クンハ競技ハ時ニ演藝化セラレ選手ハ藝人化シ學生一般ノ平均體位ハ必スシモ此風潮ニヨリ向上セラルルノ望ナク貧生ノ財布ハ却リテ之カタメニ絞ラレツツアルニ似タリ學校ニヨリテハ教育上忌ムヘキ好餌ヲ掲ケテ有數選手ヲ爭奪スルノ弊ナシトセサルニ似タリ吾人ハ其訛傳ナランコトヲ欲スル者ナリ然ラストスルモ亦後繼國民ノ將來ニ付深慮アル者ハ之カ事情ノ闡明及其匡正ニツキ遺算ナカルヘキヲ確信ス。

46) Vgl. Ely, a. a. O. p. 168, ss. 171, 172.

八

內務省衞生局長中川望氏カ第三十七回帝國議會ニ對シ保健衞生調査會設置ノタメ說明材料トセラレシ所ニヨルニ本邦人口ニ就キ出生率減退問題近ク起ルヘキコト、諸外國ニ反シ一般死亡率上昇ノ傾向アルコト、特ニ幼者・青年者・壯年者ノ死亡著シク增セルコト、乳兒死亡率進增幼者死亡率諸文明國ニ比シ極メテ高キコト、青年期壯年期ヲ特ニ冒スヘキ結核病ヲ增セルコト等ヲ特記シ又本邦花柳病、精神病ニ關スル統計ヲ揭ケ國民ノ健康狀態ハ今ヤ大ニ考慮ヲ要スヘキコトヲ說カレタリ[47]而モ亦由來諸學者カ體質廢頽蔓延ノ兆トシテ擧ケタルモノ啻ニ是等ノ事項ニ止マラス以下吾人ハ其主要ナルモノヲ拔イテ一々吟味論評セント欲ス。此點ニツキ主トシテ本邦ノ事實ニ據リ評論ヲ進ムルハ素ヨリ希フ所ナリト雖モ事實ノ蒐集及諸先輩ノ卓論涉獵意ノ如クナル能ハス間々迂遠杜撰ノ所說ニ流ルルコトアルヘシ讀者或ハ此事由ヲ提ケテ吾人ヲ責メ醫學衞生ノ專門知識ナクシテカカル問題ヲ取扱フノ餘弊ナリ無責任ナリトナスヘシト雖モ吾人カ之ヲ忍フモ尙此所論ヲ續ケント欲スルハ別ニ見ル所アレハナリ乃チソハ他ナシ開化國民ノ體質廢頽ヲ主張スル人往々ニシテ其論旨ヲ確カメンカタメニ計數材料ヲ引援スト雖モ其計數及利用上非難スヘキモノ多キカ常ナレハナリ計數ニ嚴密ナル批判ヲ加ヘス耳目ヲ惹クヘキ論斷ヲ急キ統計ノ利用ヲ誤ルノ例アルト共ニ比較的短期間ニ亘ル統計ヲ本トシ一大論結ヲ下スノ弊ハ頻繁ニ繰返サルレハナリ之ヲ實際ニツキテ見ルニ時ノ順逆ニヨリ廢頽現象ニ影響アリ此點ニ付問題ノ根本理論ニ遡リ經濟事情ノ順逆、両親營養狀態ノ良否ハ人ノ胚種原質ニ影響ナキヤ否ヤ議論ノ餘地アルモ今之ヲ究メス又人ハ其營

47) 統計學雜誌三六四號三二二乃至三二七頁參照

養不足否飢餓ノ際ニモ胚種原質ヲ傷害スルコトナシ飢餓ハ悲ムヘキモ之カタメ血統ノ衰替ヲ來スコトナシトスルカ如キ學說(現ニ Ploetz ハ議セリ男ノ Keimdrüse (飢ニヨリ著シク其重サヲ減スヘキ器官ニ屬スルモ作出サルヽ Spermatozoen ノ質ハ害セラレス唯其量ノミ減損サルヽニ非ルヤハ何人モ知ラスト)モ亦今姑ラク之ヲ尋繹セストスルモ尙經濟界ノ一時的順況、悲況共ニ廢頽現象ヲ伴ヒ得ヘキハ覩易キ所ナリ乃チ經濟事情非ニシテ窮乏下層民ノ弘キ範圍ニ行渡ラハ夫等下層民ノ營養ハ不足ヲ告ケ一面ニハ結婚及出生ノ減少トナリ他ノ一面ニハ兒女ノ死亡ヲ增スヘク引イテ又廢頽ノ結果ヲ惹起スヘキ諸種ノ疾病特ニ幼者ヲ犯スヘキハ弘ク知ラルル事實ナリ(白痴、佝僂病、結核等)之ニ反シ經濟順潮ノ際ニハカカル諸疾病ハ減スヘキモ金錢懷ニ温カナルカタメニ助長サルヘキ諸現象乃チ酒精中毒、賣淫ハ著シク其勢ヲ增シ之カタメ國民體ニ憂フヘキ影響ヲ及ホスヘシ財產ニ關スル罪ハ或ハ減スヘキモ人身ニ關スル犯罪特ニ人ノ身體毀害ハ增スヘシ夫レ然リ數十年間ニ限ラルルカ如キ計數材料ヲ本トシ種屬廢頽論者ノ議スルカ如キ廢頽ヲ斷言、高論スルハ非ナリ。我邦保健衞生調査會成リテヨリ間モナク我統計學界夙ニ這般ノ見地ヨリ立言セル人アリ乃チ吳文聰氏ハ前內相ノ訓示中本邦人口ノ死亡率「殊ニ乳兒、幼者、靑年、壯年者ノ死亡率年々增加シ國民體位ノ低下セントスルハ輕々看過スヘカラス」トアリシニ對シ蹶起シテ一矢ヲ酬ヒ由來我邦ノ死亡率ハ確實ナラス割合ニ確カナルモノニヨルコトトセハ其材料論斷ノ根據トナスニハ餘リニ短期間ニ過クルコトヲ指摘サレシヤハ大ニ我意ヲ得タリ。[48]

48) 統計集誌四三〇號一五六頁以下參照